

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.145

12|1
2018・2019



CREATOR'S VOICE 164
鈴木勲・スガダイロー 「Futuramax/フューチャーマックス」

撮影:末武和人

神奈川県民ホールギャラリー企画展 5Rooms II — けはいの純度
年末公演特集 ~平成最後の年の瀬に~
邸宅と庭園による湘南のライフスタイル「湘南邸園文化」

隔月刊:奇数月15日発行

「一秒の何分の一かの瞬間で誰もできない音を出す」(鈴木勲)
 「圧倒的な状態にまで引き込むのは、けっこう楽しい」(スガダイロー)

Experimental Gig 「FuturamaX/フューチャラマックス」

県民共済みらいホール

鈴木勲 ベース

スガダイロー ピアノ・作曲家



高い熱量のパフォーマンスに、誰もが

圧倒され、翻弄され、魅き込まれる。ジャズ界のレジェンド鈴木勲と、鬼オスガダイロー。唯一無二の二人が12月24日(クリスマス・イヴ)にライブを開く。精悍でクールな二人が交わす、意外なほど軽妙なトーク。だがその言葉の間には、音楽に向かう鋭利な精神が閃いている。

ジャズとの出会い

——皆さん、鈴木さんを「OMA (オマさん)」と呼びになるんですね。

鈴木勲(以下、O) 本当は、ウマさん。

——UMAさん？

O ハンプトン・ホーズとセッションしていたからね。彼が戦後、米軍の兵隊で来日していたんですよ。あの頃、立川とか米軍基地に軍楽隊が100人ぐらいいいて、それで5、6人と集まってはジャズを練習していた。そこに遊びに行っ一緒にするようになったんだ。ホーズだからホース(馬)。馬とやっつるからウマ、ペーで

UMAさん。

スガダイロー(以下、S) 1950年代の初め頃ですよ。

O そうだね。

——もともとベースを弾いていらした？

O まったくやっていなかった。親がルイ・アームストロングのコンサートの招待券をくれて行ったら、一番前の席だったんですよ。当時は知らなかったけれど、ミルト・ヒントンがベースで。「この楽器は面白い」と思っていたら、彼がステージの前に出てきて俺をじっと見るわけ。それで俺も立ち上がって前に行っちゃって。それでベースを始めちゃった。

それから自由が丘に「ファイブ・スポット」という、ジャズ評論の「いソノてルヲ」の店があつてね。そこで、僕がちょっとベースを弾いたら、「上手いじゃないか、ここでずっとやっていいよ」って言ってくれて。長いことそこを拠点にしていた。いソノさんは英語が達人だから、外人の来日コンサートの司会するんですね。それで司会したビル・エヴァンスとか

鈴木 勲 Isao Suzuki

1933年生まれ。70年アート・プレイキーに見出され単身渡米、ジャズメッセンジャーズの一員として活動。帰国後もセロニアス・モンクをはじめ外国ミュージシャンとの共演は数知れない。リーダーアルバムは50枚を超え、オリジナルアルバム「BLOW UP」「陽光」で日本ジャズ賞を受賞。スイスのインターネットラジオRadio Jazz Internationalより世界のジャズミュージシャン20傑に選ばれ「JAZZ GOD FATHER」の称号を授与された。

スガダイロー Dairo Suga

1974年生まれ。神奈川県鎌倉育ち。Jason Moran、山下洋輔、向井秀徳、中村達也、U-zhaan、灰野敬二、田中泯、鉛屋法水、近藤良平（コンドルズ）、酒井はな、contact Gonzoらジャンルを越えた異色の対決を重ね、夢枕獏との共作や星野源の作品への参加、白井晃演出作品にて音楽監督を務めるなど、日本のジャズに旋風を巻き起こし続ける。





ミュージシャンをみんな自分の店へ連れてくるんですよ。そんな中でアート・ブレイキーにも会ったんだ。

——その頃は、若い方がいつの間にかアメリカの第一線のアーティストとセッションできてしまう環境があったんですね。それで、ブレイキーの招きで1970年にニューヨークに渡られ、ブレイキー・バンドなどで活動することになった、と。

○最高にいい時代だったんじゃないかな。ウマさんは実は「上手」でもあったんだ。日本のベーシストの中では上手いっていう。それがだんだんまっつて。

——OMAさんになったんですね。

考えてからでは遅い

——鈴木さんとスガさんの出会いは？

S もう10年ぐらい前。OMAさんのバンド「OMASOUND」に入れてもらって。最初はついていけなくて。もう首になるやばいと思って、ともかくできるだけ自分を出そう、目立っておこうと。そうしたら、ずっと使ってくれるようになった。

——スガさんが「OMASOUND」に参加したきっかけは？

S オーディションです。OMAさんのバンドのピアノが抜けたときに、俺が呼ば

れてリハーサル一緒にやった。

○あときは15人ぐらいにやらせたんだ。残ったのがダイロー。ちょっとやっただけで、彼は絶対に伸びていくことが分かった。

——鈴木さんは、多くの若手と組んでいるんですね。

S この人は、若い子ハンター。

——鈴木さんにとって若手とのセッションとは？

○俺、うるさいからね。だいたい上手くなっていくね。

S 睨まれたら、弾けなくなっちゃう。昔は、ずいぶん怒られましたよ。でもあの頃は分からなかった。

○今は大丈夫。ダイローしかいない。他とは全然違うから。

S OMAさんみたいなベースもいない。

○人間って、音が出た瞬間の一秒の何分の一かで感動する。俺はそれを研究しているわけです。自分も弾いて泣けるからね。そうすると聴く人も泣ける。難しいことだけだね。

演奏を始めてから、30年は、何をやっているのかわかりませんよ。ただ弾いているだけ。でもこれじゃ駄目だとだんだん自分で意識しはじめる。これだと誰かに似ちゃうとか、自分の個性を創らなきゃ

Experimental Gig

「FuturamaX/フューチュラマックス」

2018年12月24日(月・振) 16:30 県民共済みらいホール

出演:スガダイロー 鈴木 勲 中村達也 KILLER-BONG
 装飾:OLEO(R type L) 照明:渡辺敬之 音響:溝口紘美 Nancy
 制作:VELVETSUN PRODUCTS 協力:BLACKSMOKER RECORDS
 全席自由

一般 前売 3500円/当日 4000円

子ども(3歳~高校生) 前売1000円/当日1500円

※3歳未満ひざ上鑑賞可。ただし、3歳未満でも席が必要な場合は有料。

◎詳細はP10をご覧ください。

www.artspress.jp

WEB
+a!このマークの記事
にはWEB版だけの
+aコンテンツも!

いけないですよ。個性っていうのは癖ですからね、そういういい癖をつけなきゃいけない。こいつのピアノが、こいつのベースが、いつ聴いてもいいなってなるものを心を持っていきなきゃいけない。それができてれば、お客さんも感動して、同じ心になってくれるんですよ。

———そこまでのいくのは大変なことですね。

O いい耳を持つてなきゃ駄目。耳とこの手が、同時に動かなきゃいけない。考えながらやるんじゃない。遅いんだ。ダイローぐらいいたら、もう瞬間に手から動いているはずだよ。

———鈴木さんとスガさんとのアドリブは、火花が散っているかのようです。

O 要するに、瞬間なんですよ。もう何も考える必要ない。耳から入ってくると同時にもう手が動いてなきゃいけない。

———即興している最中に相手に仕掛けるとかの駆け引きとかは、ないんですか?

S 驚くべきことになんてですよ。普通はあるんですけど。早口しりとりみたいな。いや、しりとりすらしなくてもいいからつうつう。

O もう瞬間に何が出るか分かんないですよ、自分でも。でも、その中で感動させなきゃいけない。そういうことが自然に、毎日、違う形でいかなきゃいけない。

同じ形じゃ、駄目。

瞬間にオリジナリティを出す

———決めた瞬間の連続ですね

O 初めて音楽聴く人でも、なんか凄くなって感じるような、それがなきゃ駄目なんだよね。

S 圧倒的な状態にまでもっていけば、普通に見られない、聴けないことだなくなってくるから。そこまでもっていか、いけないか。

O ただ「凄いな」になってくるまで。

S 圧倒的な状態にまでもっていき込むっていつのは、俺はけっこう楽しい。

O 瞬間芸。絶対に真似できないっていうオリジナリティを瞬間にやっていく。

S もう無我の境地ですよ。OMAさんは最近、もう悟りが凄いなと思う。一言で語るならば、「速さの達人」。OMAさんがバラードのやったときが一番、その速さが分かる。

O 同じバラードでもぜんぜん違ってくる。でも、スピードがあっても、それが全部生きてなきゃいけないね。

S 俺も速いのが好き。

O ダイローのピアノは良くなった。他にいないからね。外国でもない。とこ

ろで、どこでやるんだっけ?

———「県民共済みらいホール」です。ドラムの中村達也さんとサンブラーのKILLER-BONGさんも入るんですよ。

O 二人ともなかなかいいんだよ。

———このセッションで、刺激的なクリスマス・イヴが過ごせそう。

S 絶対、聴きに来たほうがいいですよ。OMAサンタが地獄の一丁目でお出迎え。世間のクリスマスに飽きた皆さまに極上の夜をお届けしましょう。

(野毛「ジャズ喫茶ちぐせ」にて)

My Yokohama by OMA

ジャズ喫茶「ちぐせ」には本当に若い頃から来ていた。ここに初めて来たのは渡辺貞夫ちゃんと一緒だったかな。「この店いいね」って。移転前は2階が空いてて、そこでしょっちゅう練習していたなあ。横浜は昔からライブハウスも多かったし、ジャズ好きな人がいっぱいいる。他の街はあまりいないですね。横浜はジャズの町って感じだね。

取材・文:川西真理

撮影:末武和人

WEB
+a!



和田裕美子「garden」2015年

5Rooms II — けはいの純度

The Truth is in the Air

神奈川県民ホールギャラリー



「5Rooms」は神奈川県民ホールギャラリーの個性的な5つの展示空間を活かし、インスタレーションを中心に同時代のアートを紹介するグループ展です。2回目の開催となる今回のテーマは「けはいの純度」。出品アーティストは、和田裕美子（1981〜）、橋本雅也（1978〜）、七瀬綾乃（1987〜）、スコット・アレン（1986〜）、大西康明（1979〜）の5人です。

第1展示室は、細やかな手仕事によって髪の毛をレースのように編み、動植物などをモチーフとして自然の生態系を描き出す和田裕美子。彼女の関心の先にある人々の思考や生命の痕跡が、ほのかなけいとなつて現出します。第2展示室は、独学で彫刻の技術を修得し、鹿の角や骨から、そこに咲いているかのような存在感を湛えた草花を彫り出す橋本雅也。動物と植物、生命と死のあわいに向けられる彼の眼差しは、どこまでも謙虚に本質に迫ろうとします。第3展示室は、新進気鋭の彫刻家、七瀬綾乃。どこか不思議な生命感を漂わせた木彫作品は、美しさと同時に何か見えないものを見せましたような不穏なざわめきなど、見る人にさまざまな感情を想起させる魅力があります。第4展示室のスコット・アレンは、レーザー光

橋本雅也「ニホンスイセン」2016年



七瀬綾乃「rainbows edge VIII」2018年

神奈川県民ホールギャラリー企画展 5Rooms II —けはいの純度

2018年12月17日(月)～2019年1月19日(土)

12月30日(日)～1月4日(金)は休み

10:00～18:00 (入場は開場の30分前まで)

神奈川県民ホールギャラリー

一般700円 学生・65歳以上500円

高校生以下無料 ほか団体割引等あり

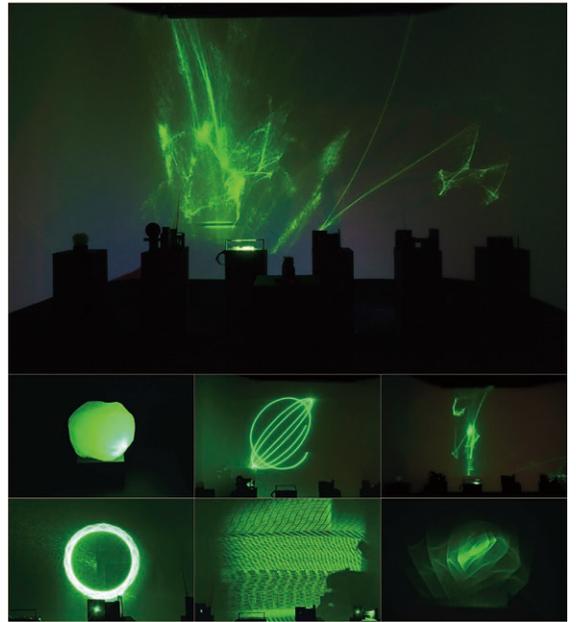
*前売券の販売なし

イベントなどの詳細はHPをご覧ください。

www.kanakengallery.com/

[関連記事]

P18 My Roots My Favorites にて出品アーティストの
橋本雅也さんをご紹介します



スコット・アレン 「spring」 2017年

線をロウ石やテープ、液体、バネ、モーターなどを使用した装置に屈折・反射させて映し出す光のインスタレーションを「生像」と名付け、「映像」に対する固定化された概念を揺さぶると同時に、見る人へ自由な解釈を促します。大西康明は、ポリエチレンシートや接着剤など形に留めにくい素材を用いて、空間を変容させる作品を制作してきました。その造形は、海、雪、雲のようなイメージをもたらすとともに、その裏側にある空洞や余白の中に「見えないけれどそこにある何か」への想像を促します。本展では、地上と地下にまたがる吹き抜けの第5展示室に、新たな風景を創出します。

目には見えないけれど、

確かに存在する大切なこと

心の機微、生命と死の営み、存在の痕跡など、言葉にすると本質から離れてしまいそうな、直観でしか捉えようのないことがあります。本展では、目に見える現実の向こう側にある、そのような何かを「けはい」という言葉に置き換え、作品を通して探ってみたいと思います。鉱石から金属を取り出し純度を高めていくように、アーティストが作品化することによって純度が高められた「けはい」を感じてみてください。

文：森谷佳永(本展企画担当学芸員)



大西康明 「fluid volume」 2018年



神奈川フィルハーモニー管弦楽団 「第九」



青木早希



エルワン・ル・ブラド



キエフバレエ「白鳥の湖」



小泉ひろし

平成最後の年の瀬に、心の奥行きを広げてくれる 極上のステージをプレゼント

神奈川県民ホール

神奈川県立音楽堂

平成最後の年の瀬は思い出深く過ごしたい。そんな思いをかなえてくれる12月の5公演をご紹介します。

まずは、神奈川フィルハーモニー管弦楽団がソリスト、合唱とともに喜びの音楽を奏でる2公演から。

救世主の降誕と受難、その復活と永遠の生命を賛える「メサイア」は、劇的な躍動感と崇高な輝かしさを放つヘンデルの最高傑作。神奈川県立音楽堂では「クリスマス音楽会」として半世紀以上にわたり毎年公演を重ねてきました。今年の音楽堂は改修中ですが、この伝統を中断せず相模原のグリーンホールに会場を移して開催します(12月8日)。指揮は、数々の「メサイア」公演を成功に導いてきた小泉ひろし。ソリストには第一線で活躍中の実力者が揃います。合唱は、神奈川県合唱連盟とともに県内の五つの高校が参加。総勢150人超の大合唱が歌い交わす「ハレルヤ・コーラス」の圧巻の響きは必見必聴です。

年末の風物詩、ベートーヴェンの「第九」は、人気と実力を兼ね備える名匠、広上淳一の指揮で(21日)神奈川県民ホール。吉田浩之(テノール)ら強力なソリスト陣にも期待が高まります。ところで、年末の「第九」は、今から100年前、第一次世界大戦終

結と独革命勃発という激動の1918年の大晦日に、ライプツィヒで「平和と自由」を願い演奏したのが始まりなのだそう。国を越え、時代を越えて歓喜の合唱に託してきた人々の思いと共振しあう感動を。

クリスマス直前の日曜日の午後は、県民ホールで大人気の「オルガン・クリスマスコンサート」を(23日)。県民ホール小ホールに設置されたオルガンは客席との距離がとても近く、演奏者と客席が一体となった親密な空間でオルガンの響きに包まれる格別の体験を楽しめます。しかも今年は、世界最高峰のシャルトル国際オルガンコンクールの覇者で、フランスを拠点に国際的に活躍するエルワン・ブラドと青木早希の名手二人の共演が決まりました。オルガンの口はもちろん、四手、四足の連弾も交えた華やかな音楽で彩るスペシャル・コンサート。味わい深いノエル(クリスマス・キャロル)と舞曲、そして色彩豊かなフランスの作曲家たちのオルガン作品に加え、バルトークとリゲティのピアノ、チェンバロのための作品など、多彩なプログラムが魅力的なクリスマスコンサートです。

クリスマス当日は、150年の歴史を誇る伝統と格式の名門キエフ・バレエでクラシックバレエ不朽の名作「白鳥の湖」

● **相模原スペシャルコンサート2018**
第53回クリスマス音楽会
ヘンデル「メサイア」全曲演奏会

2018年12月8日(土) 13:30
 相模女子大学グリーンホール

出演:小泉ひろし(指揮)
 山口清子(ソプラノ) 彌勒忠史(カウンターテナー)
 中嶋克彦(テノール) 青山 貴(バリトン)
 長久真実子(チェンバロ) 宇内千晴(オルガン)
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 神奈川県合唱連盟
 音楽堂「メサイア」未来プロジェクト合唱団
 (神奈川県立光陵高等学校、県立相模原中等教育学校、
 県立逗子高等学校、県立多摩高等学校、法政大学第二
 高等学校 各合唱部)
 志澤 彰(合唱指揮)

全席指定 1500円 車椅子席1500円(付添1名無料)



上野水香、柄本 弾 ©Kiyonori Hasegawa



宮本益光 ©Kiyonori Hasegawa

● **神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会**
県民ホール名曲シリーズ第2回「第九」

2018年12月21日(金) 19:00 神奈川県民ホール(大ホール)

出演:広上淳一(指揮)
 高橋絵理(ソプラノ) 平山莉奈(メゾソプラノ)
 吉田浩之(テノール) 浅井隆仁(バリトン)
 神奈川フィル合唱団(合唱)

全席指定 S 7000円 A 5500円 B 4000円
 シニア(1949年3月31日以前生まれの方)各席種10%引
 ユース(25歳以下)当日に限り全席種1000円



「ファンタスティック・ガラコンサート2016」より

©Kiyonori Hasegawa

● **エルワン・プラド & 青木早希**
オルガン・クリスマスコンサート

2018年12月23日(日・祝) 15:00

神奈川県民ホール(小ホール)
 出演:エルワン・プラド(オルガン) 青木早希(オルガン)
 全席指定 一般3500円 ペア(一般2枚)6500円
 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

● **キエフ・バレエ「白鳥の湖」**

2018年12月25日(火) 15:00

神奈川県民ホール(大ホール)
 出演:カテリーナ・カザチェンコ ヤン・ヴァーニャ
 キエフ・バレエ
 ミコラ・ジャジュラ(指揮)
 ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
 全席指定 S 14000円 A 12000円 B 10000円
 C 8000円 D 6000円

● **神奈川県民ホール 年末年越しスペシャル**
ファンタスティック・ガラコンサート 2018

2018年12月29日(土) 15:00

神奈川県民ホール(大ホール)
 [オーケストラ]
 ムソルグスキー(ラヴェル編曲):「展覧会の絵」より
 プロコフィエフ:ピアノ協奏曲第3番より 第1楽章 他
 [オペラ]
 ビゼー:「カルメン」より 花の歌
 グノー:「ファウスト」より 故郷を離れる前に 他
 [バレエ]
 「白鳥の湖」より アダージョ/ドリーブ組曲
 出演:松尾葉子(指揮)

宮本益光(司会/バリトン)
 嘉目真木子(ソプラノ) 澤原行正(テノール)
 石田泰尚(ヴァイオリン/コンサートマスター)
 吉見友貴(ピアノ)
 上野水香(バレエ) 柄本 弾(バレエ)
 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 全席指定 S 7000円 Sペア 13000円 A 5000円
 B 4000円 C 3000円 学生(24歳以下・枚数限定)2000円

を。オデット姫(黒鳥オティールとの一人二役にカテリーナ・カザチェンコ、ジークフリート王子にはヤン・ヴァーニャが出演。長身と長い手足を活かした同団のスターならではの美しいスタイルと抜群のテクニックに、バレエファンならずとも心ときめくこと必至です。

年末の白眉は、ファンタスティック・ガラコンサート(29日)。今年は何日交流160周年にちなんで、フランスをテーマにした料で優雅なプログラムが楽しめそうです。本公演の顔といふべき指揮の松尾葉子、バリトンの宮本益光、東京バレエ団の上野水香が今年も勢ぞろい、また東京バレエ団プリンシパルの柄本弾も出演します。今回ぜひ注目していただきたいの

が、期待の新鋭たち。本誌前号でガラ出演への意欲を語ってくれた、日本オペラ界を背負って立つ美声と美貌のソプラノ嘉目真木子、抜群の歌唱力と舞台姿で躍進中のテノール澤原行正、そして2000年生まれの新鋭星、ピアノの吉見友貴です。吉見は昨年、高校2年生で日本音楽コンクールに優勝、10代とは思えない大器ぶりが話題の的となっています。また、神奈川県民ホールの個性派コンサートマスター石田泰尚が演奏する。ピアノも必聴です。

以前、本誌で上野水香が「あのガラ公演をやらなければ年は越せません」と語ってくれましたが、各界のスターたちが心を込めて演ずる最高の舞台が、皆さまの来場を待っています。

文・川西真理

共生共創事業

ともに生きる ともに創る

KANAGAWA ALL-COMERS STAGE 共生共創事業

神奈川県では、県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」「多様性」などの取組とマグネット・カルチャー（マグカル）をクロスさせた新たな舞台芸術関連の事業“共生共創事業”を、みなとみらいの“県民共済みらいホール”を拠点として実施しています。



上段左から：鈴木 勲、スガダイロー
下段左から：KILLER-BONG、中村達也

● 第1、第3金曜日(月2回) A.M.10:10~10:20

F M横浜にて共生共創事業の新しいコーナーが開始！
10月からF M横浜 Lovely Day ~ hana金 ~ にて、共生共創事業のコーナー「This is Me ~ 今日から主役！~」が始まりました。「ともに生きる」とも「創る」を合言葉に、舞台上にチャレンジしている人たちが登場し、パーソナリティのはなさんと素敵なトークで舞台やワークショップの紹介をしていきます。



Experimental Gig

「FuturamaX/フューチュラマックス」

2018年12月24日(月・振) 16:30 県民共済みらいホール

出演：スガダイロー 鈴木 勲 中村達也 KILLER-BONG

装飾：OLEO (R type L) 照明：渡辺敬之

音響：溝口紘美 Nancy

制作：VELVETSUN PRODUCTS

協力：BLACKSMOKER RECORDS

全席自由 一般 前売3500円/当日4000円

こども(3歳~高校生) 前売1000円/当日1500円

※3歳未満ひざ上鑑賞可。ひざ上での鑑賞は十分ご注意ください。

ただし、3歳未満でも席が必要な場合は有料です。

Experimental Gig
「FuturamaX/フューチュラマックス」

音楽に留まらず演劇、ダンスなどジャンルを越えた異色の対決を重ね、日本のジャズ・シーンに旋風を巻き起こし続けるピアニストスガダイローが迎え討つ、85歳でなおも勢力的に活動を続ける現役ベーシスト「ジャズゴッドファーザー」鈴木勲！そして唯一無二のドラマーとして燦然と輝き続ける中村達也、BLACK SMOKER RECORDS 主宰の一人、最も黒い男KILLER-BONG。予測不能な男たちによる大人のクリスマス・コンサート。家族と友人と、ひとりでも、ここでしか味わうことのないクリスマス・イヴを……。

Blue Print Presents

「SAKEBU-叫ぶ-」

(ストリートダンス)

2019年1月17日(木)~20日(日)

県民共済みらいホール

演出・振付・出演：TATSUO

振付監修・協力：YOSHIE

振付協力：松田尚子 久保群青

出演：AKI ERIKA JUMPEI MIYU

KAZANE SANTA ATSUSHI

BAN (Drum&Percussion)

全席指定

一般 前売6500円/当日7000円

アンダー22 前売3500円/当日4000円

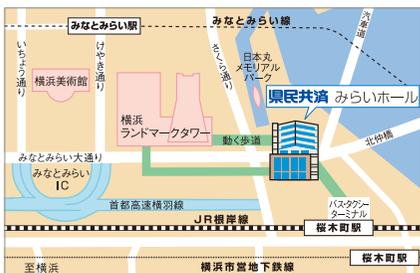


Blue Print Presents
「SAKEBU-叫ぶ-」

キッズダンスコンテスタの黄金時代に生まれ、幼い頃から国内のみならず世界でも活躍し注目を集めてきた若きダンサーたち。今20代を迎えた彼らを中心に、新たな表現に挑みます。年齢からは想像もつかない厳しい環境の中で勝ち続けてきた彼らが、何を思い、何を「叫び」ここまでやってきたのか。今“を”を生きた彼らとともに、あなたの“叫び”を見つけてください。



Blue Print Presents
「SAKEBU-叫ぶ-」



access

県民共済 みらいホール 横浜市中区桜木町1-1-8-2 県民共済プラザビル1F

● JR 根岸線「桜木町」駅下車 徒歩約3分

● 横浜市営地下鉄「桜木町(県民共済プラザ前)」駅下車 徒歩約7分

● みなとみらい線「みなとみらい」駅下車 徒歩約10分

※一部事業について、別会場で開催するものもございますので、必ず会場をご確認ください。※駐車場はございません。

主催：神奈川県 協力：神奈川県県民共済生活協同組合 公式サイト kyosei-kyoso.jp



ともに生きる: ME-BYO® 県民共済





現存する日本最古のジャズ喫茶
「ちくさ」(横浜市中区野毛町)

音楽の小箱

横浜ジャズ喫茶文化

知れば、
知るほど、
好きになる

大正14年に伊勢佐木町にあった「喜楽座」でジャズが演奏された。不幸な戦争の後、市内は進駐軍に占領され毎夜のごとくジャズが演奏された。そして横浜JAZZプロムナード*は今年26回目を終えた。物事には歴史がある。それを彩ったのは鶴見の花月園舞踏場であり、本牧ちゃぶ屋でありジャズ喫茶だった。日本にしかないジャズ喫茶は昭和4年東大赤門前にできた「ブラックバード」が最初だ。同時期に横浜で「メーゾン・リオ」が開店したと、昭和8年に「ちくさ」を開いたオヤジ吉田衛の横浜ジャズ物語にある。モノ好きが高じて店主に納まったのだろうけれど、この頃は珈琲を飲ませ音楽を聞かせること

で商売になった。音楽、特に洋楽に飢えていた時代だったのだろう。

戦後の横浜には駐留軍の兵隊、特に黒人兵はジャズが好きで多くのジャズ・クラブができた。もちろん日本人は入れないのだが、ジャズが演奏できるミュージシャンは引っぱりだことなった。たちんぼうといっただけ立っただけでお金になった人もいたくらいだ。幸いなことにこの音楽家たちはアメリカ文化の最前線に触れることができた。ハンバーガー、コーラ、タバコ、チョコレート、口に入るものだけではない、ティッシュ・ペーパーやトイレト・ペーパーまで目を見張るものだったに違いない。そしてジャズ喫茶は仕事あっせん

場ともなり、空いたミュージシャンのたまり場でもあった。

世の中が落ち着いてきても、我々若い者にとってジャズ喫茶は特別の場だった。レコードが高くて買ったに買えないので新譜を聴きに行くのだ。やがて「ちくさ」は勉強の場になり、沢山のレコードに囲まれ真剣に音楽に向かいあった。都内のジャズ喫茶には音量が大きく、紫煙でかすむ不健康な店もあったが、同じように文化を生んでいたように思う。当時流行りのアイヴィー・スタイルや、落語、文学、映画などにも。言いかえればジャズ喫茶そのものがファッションだった時代だ。

文・柴田浩一(横浜JAZZプロムナードディレクター)

*「街全体をステージに」を合言葉に1993年にスタート。日本人ミュージシャンのためのフェスティバルとして開催され、今や東洋一の規模を誇り内外から出演希望者が絶えない。

楽器ミュージアム

サクソフォン(サククス)

クラシック、吹奏楽、ジャズにロックと八面六臂^{はちめんろくび}に活躍する管楽器のサクソフォン。その誕生は管楽器の改良が進んだ19世紀半ば。パリで楽器製造を営むアドルフ・サククスによって考案されました。

考案者の名がそのまま名称になったこの楽器は、木管の柔らかな音色と豊かな抑揚、金管の強くストレートな音量を併せ持つ優れ物。クラリネットと同じく1枚リードをマウスピースに付けて息を吹き込む木管の仲間ですが、ボディは金属製で形状もクラリネットのような直管ではなくトランペットなどの金管のように下に向かって広がっています。ボディには、考案当時開発

されたただった音孔を開閉するキーメカニズムを装着。このメカニズム、外見はかなり複雑ですが、とても合理的に作り込まれているため、指使いが簡単で楽に演奏することができます。

こんな楽器の優等生サククスは、発表後すぐに欧米の吹奏楽団に採用されるなど急速に普及しましたが、ドイツやイタリアなどの作曲家がサククスを採用することは殆どなく、考案者の死後、欧州での関心は下火になってしまいました。しかし、吹奏楽が盛んだったアメリカでの人気は衰えず、ジャズ・バンドにも欠かせない楽器となります。そして1920年代にスウィングジャズ・ブームが欧州に伝わると、

アルト・サクソフォン。ボディが長いためにU字に曲げられています。アドルフは音域の異なる14種類ものサククスを考案し、今日、アルト、テナー、バリトン、ソプラノが主に使われています。



クラシックの作曲家たちもサククスを再評価するようになったのでした。

とはいえ、クラシックとジャズとではサククスの響きはかなり異なります。クラシックではクラリネットのように管の下をあまり広くせず端正な響きが出る型を、ジャズでは感情をストレートにぶつけられる幅広のマウスピースの型を選ぶことが多いそうです。そんな型の違いに注目すれば、あなたはもうサククス通です。



イラスト:遠藤裕喜奈

ジャコモ・プッチーニ オペラ「蝶々夫人」

1903年2月の夜、イタリアの田舎道を疾走する1台の自動車が事故をおこします。乗っていた男性は大腿骨折で絶対安静、車椅子に乗れるまでに数ヶ月を要する大事故でした。男性の名前はジャコモ・プッチーニ。イタリア・オペラ界の頂点に立つ作曲家です。当時彼は、新作オペラ「蝶々夫人」の作曲中でしたが作業は難航しており、この事故でさらに遅れます。

退院後、身の回りの世話をさせる小間使いを雇います。近くの農家の16歳の娘ドーリア・マンフレディです。彼女の献身的な支えもあり、同年12月にオペラ「蝶々夫人」は完成します(初演は翌年2月)。

「蝶々夫人」は当時のジャポニズム・ブームから生まれた作品です。没落士族の15歳の娘・蝶々さんが芸者となり、アメリカ海軍士官ピンカートンと結婚し妊娠。しかし、彼は妊娠の事実を知らずに、一人アメリカに帰国します。蝶々さんは夫の帰りを信じ待ち続けますが、3年後、ピンカートンはアメリカ人の妻と共に彼女の前に現れます。彼の愛が永遠のものでなかったことを知った蝶々さんは、自らの誇りを守るため、父親の形見の短刀で自刃し果てるのでした。

作者の人生が芸術作品に反映するように、作者や周りの人々の人生がまるで芸術作品をなぞっているかのように見えることがあります。

ドーリアは、「蝶々夫人」完成後もプッチーニ家で働き続けます。しかし、1908年、プッチーニとの不倫を理由に突然解雇されます。ドーリアの献身が、プッチーニの妻エルヴィーラの猜疑心に火をつけてしまったのか……近年ではエルヴィーラの連れ娘が、当時プッチーニが作曲中だったオペラ「西部の娘」の台本作家との不倫現場をドーリアに目撃され、彼女を遠ざげるために義父プッチーニとの嘘の不倫話を母親に告げ口したといわれています……エルヴィーラは解雇理由を村中に言いふらします。

1909年、追いつめられたドーリアは、自らの誇りを守るために服毒自殺。その後、生前の彼女の希望により遺体は検死解剖され、彼女が処女であったことが証明されたのでした。

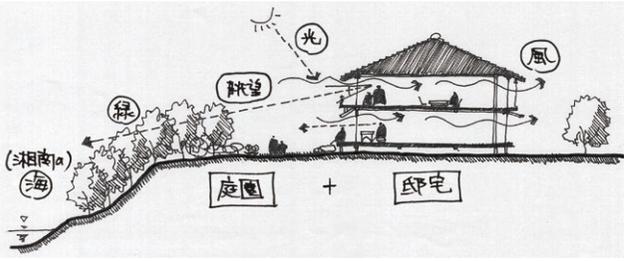
ジャコモ・プッチーニ Giacomo Puccini (1858~1924)
イタリアの作曲家。18世紀から続く宗教音楽家の家系に生まれる。ジョゼッペ・ヴェルディ後のイタリア・オペラ界の頂点に立つ。代表作は「マノン・レスコー」、「ラ・ボエーム」、「トスカ」、「トゥーランドット(未完)」など。

邸宅と庭園による湘南のライフスタイル
湘南邸園文化



茅ヶ崎館 明治・大正・昭和・平成の歴史を伝える日本旅館

写真提供: 茅ヶ崎館



湘南邸園 (=「邸(宅)」+「庭(園)」)文化のイメージ図。湘南の海沿いに位置し、海への眺望や光・風を感じながら、建築物と庭園空間を一体的に用いる豊かな文化が育まれている

野原卓
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授。東京大学助手・助教を経て現職。横浜市の都市デザインや大田区モノづくりのまちづくりを始め、現場とデザインをつなぐ都市デザインマネジメントなどの実践・研究活動を展開。著書に『まちをひらく技術』(共著・学芸出版社)『アーバンデザイン講座』(共著・彰国社)など。

WEB +α!

今や、閑静な魅力ある海沿い住宅地ブランドとして名高い、「湘南」。どこからどこまでが湘南なのか論争になるほどの人気である。本来は、「相模国南部」の意味であるが、風光明媚な中国の湘江下流部から湘の字をあてたといわれており、逗子に住んだ徳富蘆花の随筆集『自然と人生』(1900)でその風景がたたえられてから著名となったらしい。また、明治初期岩倉使節団らが視察したロンドン郊外の海沿いの保養地・別荘地ブライトンが、湘南地域の風景と酷似していたために、別荘地・保養地としての湘南地域形成のモデルになったともいわれている。

明治期以降、首都圏で活躍する政財界人・文化人らの滞在・保養・交流拠点として人気を博し、豪華で魅力ある邸宅や庭園が並ぶとともに、美術、文学、音楽、スポーツなどのさまざまな文化の発信・蓄積の地として栄えてきた。

そんな歴史・文化を育んできた湘南地域の中でも、特に、人々の心に残る歴史の深い「邸宅」と、緑あふれる「庭園」を一体的にとらえて、官民協働で保全活用し地域の活性化につなぐ「邸園文化圏再生構想」の一環として、2006年から「湘南邸園文化祭」という取組みが進められている。各地のNPOや地域住民を中心に、ガ

今や、閑静な魅力ある海沿い住宅地ブランドとして名高い、「湘南」。どこからどこまでが湘南なのか論争になるほどの人気である。本来は、「相模国南部」の意味であるが、風光明媚な中国の湘江下流部から湘の字をあてたといわれており、逗子に住んだ徳富蘆花の随筆集『自然と人生』(1900)でその風景がたたえられてから著名となったらしい。また、明治初期岩倉使節団らが視察したロンドン郊外の海沿いの保養地・別荘地ブライトンが、湘南地域の風景と酷似していたために、別荘地・保養地としての湘南地域形成のモデルになったともいわれている。

ある清閑亭(小田原市)、旧モーガン邸園(藤沢市)、小津安二郎の定宿としても知られる茅ヶ崎館(茅ヶ崎市)を始めとして、多くの邸園で文化的活動が用意されている。同時に、明治元年から150年目であることを記念して、旧伊藤博文邸である滄浪閣(そうろうかく)を始めとした邸園エリアで、明治記念大磯邸園の整備が予定されている。

「邸(宅)」+「庭(園)」邸園構造のような豊かな暮らし方の種は、湘南以外の地域にもたくさん眠っているはずである。各地域で、お気に入りの邸園を探し、あるいは、自らアレンジした邸園生活を採用してみたいかがたろうか。

イド・ツアーはもちろん、邸園を使ったコンサートやティーパーティーの開催など、新たな文化発信や地域住民と来訪者の交流の場が、同時多発的に展開されている。

2018年も、旧黒田長成侯爵別邸である清閑亭(小田原市)、旧モーガン邸園(藤沢市)、小津安二郎の定宿としても知られる茅ヶ崎館(茅ヶ崎市)を始めとして、多くの邸園で文化的活動が用意されている。同時に、明治元年から150年目であることを記念して、旧伊藤博文邸である滄浪閣(そうろうかく)を始めとした邸園エリアで、明治記念大磯邸園の整備が予定されている。



小田原文学館本館と庭園の融合 (旧田中光顕伯爵別邸)

かながわ
芸能
●
歳時記

第16回

道祖神祭

(山北町／1月)

山間の小正月を祝う子供たちによる囃子と花車。かしや



山北駅前での解散式の様子

監修… 神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力… 山北町教育委員会
写真提供… 山北町教育委員会

住所: 神奈川県足柄上郡山北町山北周辺
交通: JR御殿場線「山北」駅下車
日程: 2019年1月13日(日)
お問合せ: 山北町教育委員会生涯学習課 0465-75-3649



山北の道祖神祭は、毎年小正月に、子供たちの健やかな成長と無病息災を願う祭りです。竜や獅子などの精巧な彫りが施された山車に提灯・花笠などを飾り付けた花車6台と神輿3基が共に町内(山北地区)を巡行します。

昼頃に山北駅前にて全ての花車と神輿が集合し、神主によるお祓いを含む出発式を行います。その後、町内を巡り、夕方に駅前へ戻り、解散式となります。

巡行中や駅前の式典で、子どもたちが演奏するのが川村囃子です。川村囃子は江戸祭り囃子の系統に属し、江戸時代末期ころ、小田原市多古から山北町岸地区へ伝わり、その後、岸地区から山北地区へ伝わりました。囃子は、「囃子」「昇殿」「神田囃子(神田丸)」「鎌倉「四丁目」の五つの曲目から組み立てられています。夕方には花車に電飾が灯され、山間の集落をさらに華やかに彩ります。

● 同時期(1月)開催のその他の祭り

福踊り(小田原市根府川/寺山神社/1月12日)
初神楽(鎌倉市大町/八雲神社/1月6日)

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会県民ホール名曲シリーズ第3回

2019年1月19日(土) 15:00 神奈川県民ホール 指揮: 小泉和裕
ヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲 ハチャトウリアン/バレエ音楽「ガイーン」組曲第1番より「剣の舞」「バラの乙女たちの踊り」「レスギンカ」ビゼー/「アルルの女」第2組曲 チャイコフスキー/「莊厳序曲」1812年 他
全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円 コース(25歳以下)当日のみ1000円
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil @instagram.com/kanagawaphil

神奈川近代文学館

スポット展示「広津和郎と絵画～近年の収蔵資料を中心に～」
2018年12月8日(土)～2019年1月20日(日)
開館時間: 9:30-17:00 (入館は16:30まで) 休館: 12/28～1/4、月曜(12/24・1/14 開館)
「松川裁判」「年月のあしおと」などの創作のほか美術品蒐集でも知られる作家・広津和郎(1891～1968)のコレクションのうち、中村彝、安井曾太郎らの絵画、画家たちとの書簡、広津が描いた絵画など約30点を展示。
同時開催: 常設展「文学の森 第3部」 観覧料: 一般250円 他
TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山

2018年度 県立社会教育施設公開講座「明治150年を超えて」
第1回2018年11月24日(土)・第2回12月8日(土)・第3回12月22日(土)
第4回2019年1月12日(土)・第5回1月26日(土) 開催時間: 各回13:30-15:30
開催場所: 鎌倉商工会議所会館 地下ホール(※会場が美術館と異なります)
受講料: 各回1000円 定員: 各回120名(申込み先着順、定員に達し次第締切)
申込方法: 美術館サイト「イベント」メニューから申込フォームにて受付
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp

神奈川県文化課

かながわ伝統芸能ふれあい祭

横須賀に多彩なジャンルの伝統芸能が大集合! ヌネスコ無形文化遺産に登録されている「能楽」や「チャッキラコ」のほか、地域に根付いた民族芸能、クラシック音楽と和太鼓のコラボなど盛り沢山。文化の秋にぴったりのイベントです。 入場無料・要事前申込
2018年11月23日(金・祝) 16:00開演 会場: 横須賀芸術劇場 大劇場
※13:00から小劇場において、出演団体によるワークショップを実施します。
www.pref.kanagawa.jp/docs/yi4/evt/e3909592
TEL.045-210-3806 (神奈川国際文化観光局文化課)

My Roots My Favorites

橋本雅也

(彫刻家)



©矢野津々美

WEB
+a!

ある体験が原点

言葉をごえて命の流れと向き合う

鹿の角や骨でつくる草花の彫刻は

鹿の角や骨を彫って草花の彫刻をつくるなどしています。今に至る最初の転機は、20代前半で仕事を辞め、アジアやアフリカを旅したことです。社会的な時間から一旦離れ、自然や自分の感覚を主体に考え、行動する中で、こんな経験をしました。

ヒマラヤのふもとの町、インドのカソールでのことです。河原で見つけた流木を何気なく拾い、紙やすりで磨いてみたら、カサカサした表面が変化していき、内側から本質が表れてくるような感覚に惹かれました。さらにナイフも使い、拾った木や石で髪飾りやペンダントを作り始めます。この経験から、帰国後はそうした装身具作りが生活の基礎になりました。

そんなある日、丹沢山地を訪ねた時、森でアナグマの真っ白な頭骨に出会いました。美しいと感じて持ち帰ったのですが、アトリエで見るとなぜかその美は感じられなかった。わけを探ろうと対話するように彫ってみたのが、動物の骨や角を彫り始めた最初です。

ただ、今のような作品に至るのは、さらにいくつかの出来事を経てからでした。まず、あるお寺の住み込み管理人として暮らし始めたことです。ふだんは住職

もこない無住寺ゆえ墓守的な役割もあり、一方で四季折々に咲く庭いっぱいの草花の世話も毎日の仕事です。生と死を、より日常的に感じる生活になりました。

加えて大きかったのは、猟をしている友人に同行し、冬山である鹿の死に立ち会ったことです。角や骨を扱う上で一度は必要と考えたのですが、実際の狩りや解体は想像以上に重い体験でした。一方、その際なぜか一輪の花のイメージが脳裏に浮かんだこと、また凍える体で頂いた鹿肉に、命の流れをかみしめる感覚を得るなどし、しばらく心の整理がつかず悶々としています。

しかしひと月ほど経ったころ、咲き始めた水仙が目にとまり、あの鹿の角と骨で花々を彫ることで、一步ふみ出そうと思えました。この経験から、言葉や自我をごえた自然の^{ことわり}理を共有できる作品ができたならと考え、制作を続けています。(聞き手・文:内田伸一)

橋本雅也 Masaya Hashimoto

1978年 岐阜県生まれ。独学で彫刻を学ぶ。主な個展に「殻のない種」(ロンドンギャラリー/2012年)、「間なるもの」(金沢21世紀美術館デザインギャラリー/2014年)、グループ展に「生きとし生けるもの」(ヴァンジ彫刻庭園美術館/2016年)、「物語る物質」(高松市美術館/2017年)など。

*12月17日(月)～2019年1月19日(土)神奈川県民ホールギャラリー「5Rooms II—けいはいの純度」展に参加(詳細はP6、7特集記事に掲載)

REVIEW

音楽堂アフタヌーン・コンサート 山田和樹指揮 東京混声合唱団 特別演奏会 横浜能楽堂で聴く 伝統芸能と合唱の出会い

2018年8月23日(木) 横浜能楽堂



©青柳 聡

3年目の今年は音楽堂が工事休館のため、お隣の横浜能楽堂で開催。会場にちなみ「伝統芸能」をテーマとし、マエストロの選曲で日本と世界の伝統芸能を基に生まれた作品をお贈りしました。その内の一つ、長野県碓氷峠の民謡を題材とした柴田南雄作曲『追分節考』では、関一郎と藤原道山の尺八奏者が登場し、男声パートとともに客席内を歩き、聴衆を取り囲むように演奏。親密な空間を包み込む様に響く歌声に2本の尺八が加わり、神秘的な世界を作り出していました。合唱団の即興演奏による「フリージャズ」では、来年の音楽堂公演のテーマ「ジャズ」の布石となる新たな試みとなりました。

お客様の声

毎回聴いているのですが、今回は特に感動いたしました。すぐ近くに演奏者が来てくれたことも大きかったと思います。会場も格別でした。(80代男性)

クラシックだけしか歌わないかと思っていた合唱が日本の伝統芸能である曲を歌うとは思わなかった。客席から歩き合唱するのも音色が多方面から聞こえて良かった。(60代女性)

山田さんのトークのおもしろさ。演奏曲と会場が大変マッチしていて、雰囲気がとてもよかったです。(50代女性)

2019年1月20日(日) 15:00 小田原市民会館大ホール

「東京混声合唱団 小田原特別公演 新春をいどる合唱のひとつとき 東混が贈る心あたたまる 世界のうた・日本のうた」
出演：キハラ良尚(指揮) 魚谷絵奈(ピアノ) 東京混声合唱団 [共演] 小田原少年少女合唱隊、マルベリー・チェンバークワイア
*詳細は音楽堂ホームページまで。

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクアエンジニアリング/アサヒビル株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート株式会社勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社神谷コーポレーション株式会社/カヤバシステムマシナリー株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー株式会社KSP/株式会社合同通信/コトブキシーティング株式会社/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社株式会社テレビ神奈川/東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニューグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社横浜信用金庫/弁護士法人横浜/パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:1社)
永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/嶋田昌子/高岡俊之/中澤守正/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:2名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社 (敬称略 2018年10月11日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ：本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/

劇場の達人

バリアフリーで一緒に

え・ユキナ



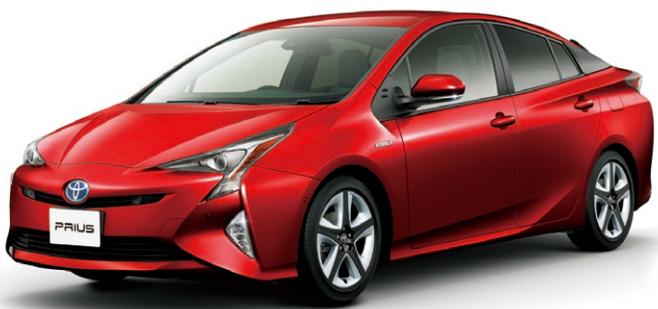
Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メルマガ無料配信
 チケットの先行予約が可能
 登録はWEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
 神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
 WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
 MAGCUL マグカル ドット ネット
MAGCUL.NET



神奈川トヨタは、地域社会に貢献する活動の一環として「かながわ水源の森林づくり」に企業参加しています。



PRIUS

神奈川トヨタ 神奈川トヨタ本社お客様相談テレホン
 ☎ 0120-212119
<http://www.kanagawatoyota.com>

編集後記

巻頭インタビューが横浜を代表するジャズ喫茶ちぐさぎに進出。ちぐさスタッフの皆さまには大変お世話になりました、改めて御礼申し上げます。(お亀) 山北町は神奈川はもちろん、日本有数のお祭りの宝庫ですね。伝統を守る皆さまに敬意と感謝を表します。(倉)

Vol.145 (通巻149号) 2018年11月15日発行(寄数)15日発行 TEL 045-663-3711 FAX 045-663-3714 発行:公益財団法人神奈川芸術文化財団 企画・制作:公益財団法人神奈川芸術文化財団 / MOJOWORK【禁無断転載・複写】無料配布